



いつもちかくにあったもの。

3113_長谷川翔英

過去のあなたへ

まあ、やっぱ？まず自分自身からっしょw ってね、最近思うんよー。あまりにも今の社会は『対話』が少なすぎるよ、もうちょっと、ね？お話しさせてあげて

こんにちは
今僕は昔のアナタに話しかけてい
ます。今はもう忘れかけているであろう童心
に。そう、物心ついたその日から今日まで、ずっと
アナタのちかくにあったもの。ずっと見守ってくれていたも
の…僕も最近まで、忘れていました。その心がいかに大事である
かという事を。ええ、ええ、ごもっともです。急に何を言い出すの
だ…と。昔から今まで私は私だ、と…そもそも思い起こして何になる
のかと…そう仰るのも無理ないです。ただ、それでも…！それでも僕は
説きたいのです！昔のアナタの心は今も尚、物置の奥深くであなたが再
び見つけてくれる事を望んでいるということを…。僕は、それでどうこ
うしろなんて言うつもりはありません。ただ今、アナタ自身を見つめ
直してあげて欲しいのです。僕はそのキッカケにすぎません。見つ
め直して欲しいというのも、僕の勝手なワガママです。でも僕は
腐っても表現者だ。アナタになんて言われようが、表現し世
界に説き続ける。それが文字であれ、絵であれ、曲で
あれ。アナタの人生に少しでも日の光がさせ
ばと思いながら。自分自身と対話
をしてあげて

■ コンセプト

自分の原点であり、共に人生を歩んできた『絵を描く』ということ。その時を思い出しながら、世界が鮮やかに彩られていたその瞬間を描きました。

■ 説明

この絵は僕が小さい頃に居た部屋を元として、構成しています。説明としては昔の僕が描いている絵がシャボン玉として浮かび上がり、割れ、好き勝手暴れ回る様子です。これは、とめどなく溢れてくるインスピレーションを表していて言わば頭の中を覗いているようなものです。

■ 悲しい点

背景かなり描き込んだのですが、キャラクター達がいるので見えなくなってしまった場所が多くあるのが、悲しい！！



僕が絵を描く理由

1. 世界と対話をするため

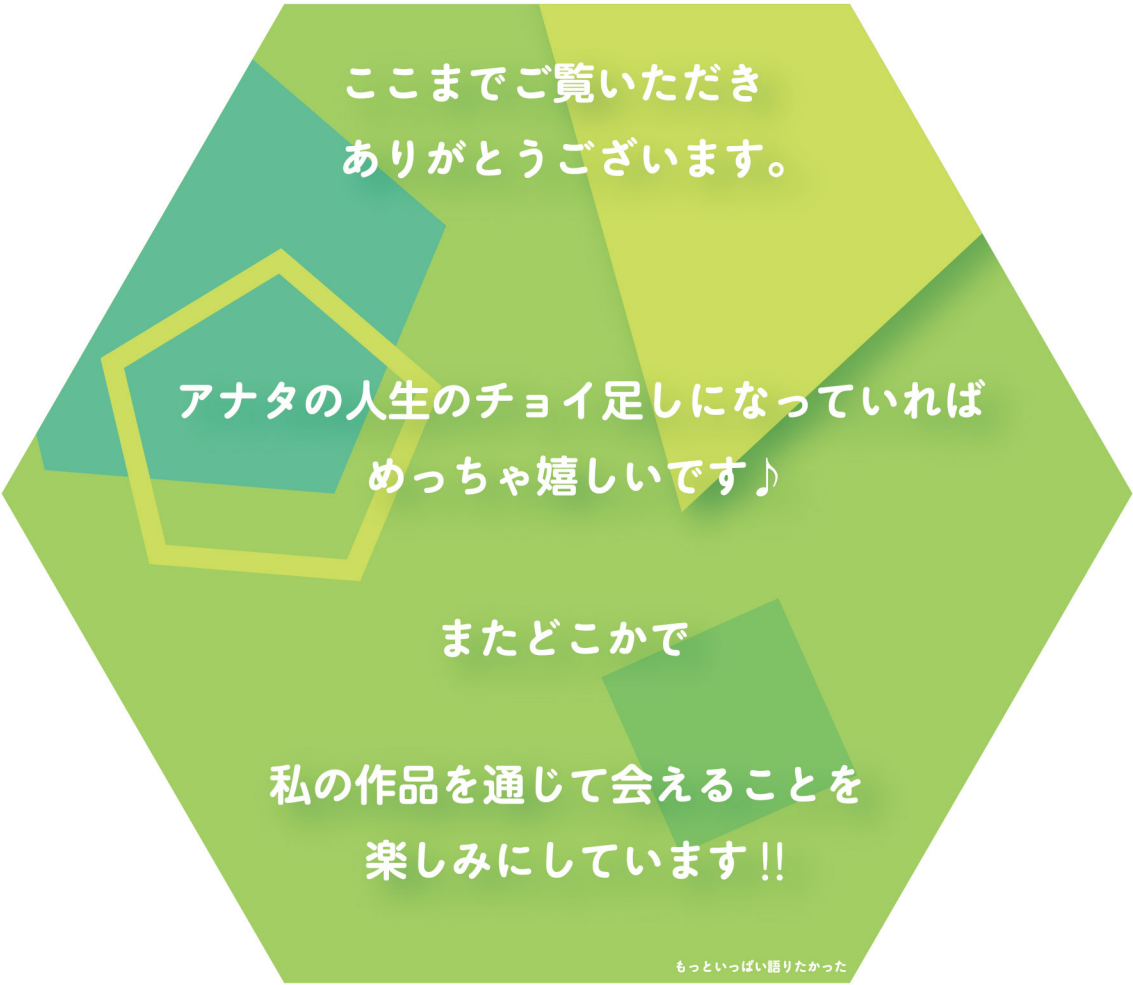
僕は『人』という圧倒的な情報量が苦手で、直接世界に姿を晒しながらでは『人』に押し潰されてしまう。だから裏でコソコソ創作で表現し世界と対話をしたい。

2. チョイ足しにして欲しい

折角ここまで僕だけの人生を送ってきたのだから、そこでしか得る事のできない、表現の仕方を皆んなに知って欲しいと思う。こういう世界もあったのか、と。

3. 言葉では直接的すぎる

僕は言葉を何にでも姿を変えられるバケモノだと思ってる。それは善にも悪にもなるものだ。だから絵に落とし込んで表現する。皆んなの心に優しく入りこむように。



ここまでご覧いただき
ありがとうございます。

あなたの人生のチョイ足しになっていれば
めっちゃ嬉しいです♪

またどこかで

私の作品を通じて会えることを
楽しみにしています!!

もっといっぱい語りたかった

3113_ 長谷川翔英

